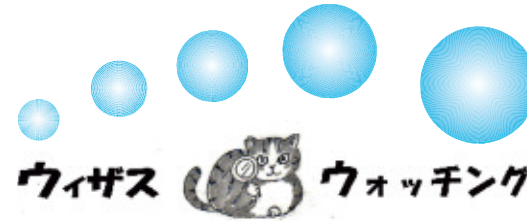




特集

父親とPTA活動

ウィザス



芦屋市男女共同参画推進条例「概要版」を一新しました！

「芦屋市男女共同参画推進条例」(平成21年4月1日施行)を存じですか。知っている・聞いたことがあるという方も多く思いますがその条例に「概要版」があることを存じのかたは少ないと思います。なぜならその「概要版」は毎年、市内公立中学生を中心に配布しているものだからです。条例の内容をわかりやすく伝わるように作成したこの「概要版」は、平成21年以降も毎年、市内の公立中学校の新1年生に配布してきました。そのほかにも、センターの講座・事業でも配布してきましたが、多くの皆さんの目につける機会が少なかったように思います。そんな「概要版」ですが、すでに作成して5年以上が経過したため、このたび新たに編集し直して、平成28年3月に「改訂版」を発行することになりました。

今回も、表紙のイラストと題字は市内の中学生から募集。また、新たに官学協働の取り組みとして、近隣で唯一まんが表現学科のある神戸芸術工科大学の学生の皆さんにご協力をいただきました。条例の内容をまんがで表現していただきました。

今年度は、これから思春期にさしかかる市立の中学生全員に、この新しい「概要版」を配布します。思春期の心に「男女共同参画社会」の豊かなイメージを育ててもらい、その身に起こるかも知れないデートDVなどへの警鐘に役立ててもらえたらと願っています。また、この新しい「概要版」は、芦屋市男女共同参画センターの窓口でご希望のかたに配布いたしますので、ぜひ皆さんも一度手に取ってご覧になってください。



男女共同参画「川柳」入賞作品が決まりました！

- 平成27年度の男女共同参画「川柳」入賞作品が決まりました。今後は、さまざまな場面で啓発に活用させていただきます。表彰式は、3月6日(日)に市民センター301室で行います。
- ◆市長賞 「おふくろもおやじの味も星3つ」 愛犬ルンバ
 - ◇優秀賞 「前後に子乗せてイクメン風を切る」 北村ハルコ
 - ◇優秀賞 「パパの背の子をあやすママみな笑顔」 杜の都
 - ◇優秀賞 「産湯する夫婦の笑顔とろけそう」 伴子
 - 入選 「お迎えはパパかママかと待つ天使」 すずらん
 - 入選 「配送は妻10トン僕軽四」 フミカツ
 - 入選 「好物はママのおにぎりパパのパン」 千代紙
 - 入選 「熱下がる夫のおにぎり水枕」 ひでこ
 - 入選 「ママ遅いパパと一緒にの夕ごはん」 由美子
 - 入選 「男性も女性も似合う宇宙服」 千尋

ウィザスあしやフェスタ2016

- 芦屋市男女共同参画団体協議会21団体と市が主催するフェスタを、今年度も下記のとおり開催します。喜んでご参加ください。
- ◆テーマ **手と手をつないで地球はひとつ**
 - ◆日時 ①平成28年3月13日(日) ②3月13日(日)～19日(土)
 - ◆内容 ①チャリティーバザー/喫茶コーナー/交流ひろば・共同制作など ②ワークショップ/グループ展示 など
 - ◆会場 ウィザスあしや & リードあしや(公光分庁舎・北館全館)

一時保育つき大人の読書タイム

- 子育て中の皆さん、毎月第3月曜日と火曜日の2時間、ゆっくりとお好きな本を読んでみませんか？あなたの読書中、お子さんはウィザスあしやの保育室でお預かりします。
- 日時 【月曜日】3月28日・4月18日・5月16日
【火曜日】3月15日・4月19日・5月17日
※時間については、申し込み時にご確認ください。
※月曜日・火曜日とも先着各4人(2歳未満児の同伴不可)
 - 会場 男女共同参画センター ウィザスあしや
 - 対象 子育て中の親(祖父母を含む)と子ども(2歳以上就学前児)
 - 一時保育 各回とも、先着各4人(1人300円)〈要予約〉
 - 申し込み 毎月1日から、電話(TEL 38-2023)でセンターへ

編集後記

小学校PTAの執行部をしていたころ、他の保護者から「大変ね」「忙しいでしょ?」とよく言われていました。確かに時間の拘束はありましたが、それ以上に勉強になることが多かったように思います。教育委員会などの行政とのやりとりや、総会の仕組みについての理解など、市民活動をする上でのスキルアップにつながりました。PTA活動は、自分の血肉になったと実感しています。(村上)

ワーク・ライフ・バランス

お父さん、出番ですよ！ A.S



秘密厳守 女性相談 面接相談

無料相談・予約専用電話 TEL 38-2022

- ～ご相談には、予約が必要です～
- 日程 ①第1土曜日 ②第1～4金曜日
 - 時間 ①午前10時～正午(1人50分) ②午前11時～午後4時(1人50分)
 - 内容 心の悩み相談・家事調停相談 ※一時保育(無料)〈要予約〉
 - 【法律相談】■3月26日(土)・4月13日(水)・5月14日(土) ■午後2時～4時(1人30分)〈要予約〉

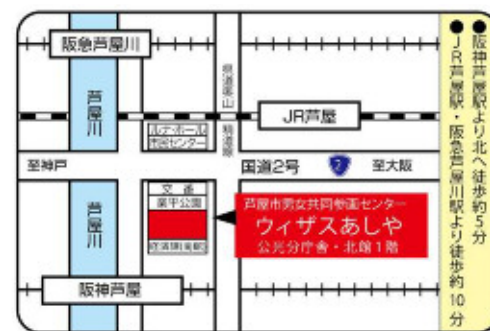
ウィザス No. 84

平成28年3月発行(冬号)

編集・発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0065 芦屋市公光町5-8(公光分庁舎・北館1階)
TEL. 0797-38-2023 / FAX. 0797-38-2175
Eメール josei-ce@city.ashiya.lg.jp

■開館：月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分
■休館：日曜日・祝日・年末年始(12月28日～1月4日)
ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/danjo/withus/centerwithus.html>



父親とPTA活動

特集

わが子のため 子どもたちの成長を見守る 芦屋のお父さんたち！

市内の公立幼稚園・小学校・中学校それぞれの学校のPTA(単位PTA)が集まって、芦屋市PTA協議会(芦P協)が組織されています。そして芦P協は、それぞれの単Pと情報・意見交換を行いながら、子どもたちの成長を見守っています。また芦P協は、教育環境の改善や社会問題など、地域全体の向上をめざして問題に取り組む活動もしています。現状では、PTA活動への父親の参加は多くはありません。しかし一方、芦屋市内の各小中学校・園では、父親の参加を促すためのさまざまな取り組みが行われています。

◆具体的な取り組み

例えば、小槌幼稚園の「メンズデー」です。年間行事を早めに各家庭にお知らせし、どの行事に参加できるか事前にアンケートを取るという形になっています。仕事との調整がしやすいためか、たくさん父親の参加があるということです。また、岩園幼稚園には「やる気マンマンDAY(男性参画)」という、父親と子どもが遊ぶ日があります。さらに、宮川小学校の「読み聞かせ」には、朗読ボランティア

PTAとはParent-Teacher Associationの略で、保護者と教師が協力して、子どもたちが人として尊重されるなどの児童憲章の精神を教育の現場で生かすこと、教育の民主化の徹底をはかることを目的とする、学校単位の組織のことで、営利が目的ではなく、国や行政による統制や干渉を受けません。そんなPTA活動ですが、役員会議などが平日の昼間に設定されていることが多いためか、母親の参加がほとんどになっています。芦屋市の男女共同参画行動計画(ウィザス・プラン)には、「PTA活動への男性の参加促進」という具体的施策があります。芦屋市のPTA活動の場合を見てみましょう。

に父親が2人参加しています。授業前の朝のひと時、出勤前に教室を訪れ、交替で子どもたちに「読み聞かせ」をしています。



●朝の「読み聞かせ」風景。身を乗り出して、お話に聞き入る子どもたち(宮川小学校以外にも、市立の全小・中学校で「読み聞かせ」が行われています。それぞれのボランティアをつなぐ会として「本の虫ネット」があり、活動しています。朝以外にも、希望者対象に昼休みの「読み聞かせ」も行っています。

インタビュー

●宮川小学校で「読み聞かせ」している父親のお1人でもある中町信孝さん(現芦P協会長)にお話を伺いました。(Y.M)



Q 「読み聞かせ」の活動は、何人で、週何回くらい実施されていますか？
A 今年度は30人を超えるメンバーが集まりました。週1~2回の活動です。

Q 1年生から6年生の希望者を1カ所に集めて、実施されるのですか？
A 朝の読書タイムには、各教室にボランティアが出向いて、クラス全員の前で本読みをします。昼休みには、和室などのスペースで、聞きたい子どもだけを集めています。

Q この活動について、どのような思いで参加されていますか？
A 最初は、わが子の学校でのようすを知る良い機会だと思って参加しましたが、いざ始めてみると、声の出し方や姿勢・表情など、工夫ひとつで子どもたちの反応が変わってくるのが分かり、読み聞かせの奥の深さを実感しました。子どもたちからのビビッドな反応、意外な感想などが返ってくると、大きな充実感が得られます。父親の参加はまだ珍しい(!)ので、子どもたちからの「ウケ」もよいようです。宮小では現在2人の父親会員が参加していますが、ぜひもっと多くのお父さんにも参加してほしいと思います。

Report+

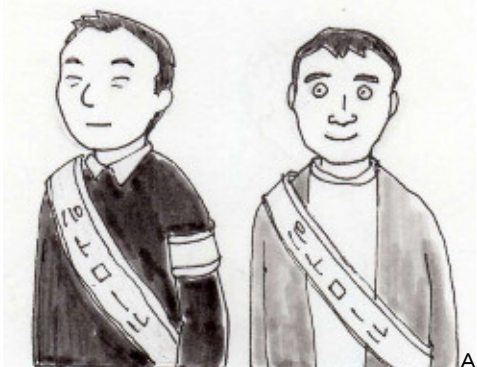
山手小PTA おやじの会(子育て応援男)



昨年12月12日、山手小学校校庭で開催した山手コミスクの「餅つきフェスティバル」では、おやじの会のメンバーが餅つきのつき手を引き受けました。

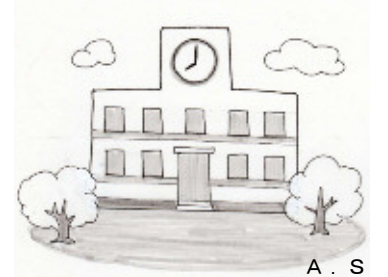
PTA活動に活躍するお父さん！

また上記「Report」にある山手小学校のグループのほかにも、精道小学校では各年度に男性クラス役員が1人か2人はいて、PTA活動に積極的に参加されているというお話もお聞きしました。現PTA役員の方々に父親参加のメリットについて伺うと、「地域とのつながりができる」、「子育てが楽しくなる」、「家庭で子育ての協力がある」、「学校での子どもがわかる」、「女性と違う視点からの意見があり、父母双方の視野が広がる」、「育児の関わり方が変わる」、「防犯面の強化につながる」等のご意見がありました。一方、父親がPTA活動に参加するようになると、スケジュール等の時間調整がしにくくなるのではという心配の声が多数ありました。また、父親が増えれば、男性にありがちな「プロセスよりも結論を急ぐ」とか「PTA活動より、異業種交流の場になる」という心配の声も…。しかし、男女の人口比や子どもたちとの関わりという点から考えれば、PTA活動に男性がもっと参加することは望ましいことです。ただ、現在の働き方のままでは心身ともに無理があります。社会環境の変化により、男女ともに長時間労働が当たり前になってきている昨今、まずはPTA活動を誰でも参加できるような仕組みにしていくことが、早急な課題なのでしょう。そして、変化が必要なのはPTA側ばかりではありません。雇用側の意識の変化も大切ですが、何より男女を問わず柔軟な働き方ができることこそが、最も重要なことでしょう。(Y.M)



～父親も気軽に地域・PTA活動に参加～

山手小学校PTAでは、平成27年度から父親にも参加を呼びかけるボランティア活動「おやじの会(子育て応援男)」をスタートさせました。最近、学校行事の参観やオープンスクール、運動会に向かう父親が増えています。しかし普段のPTA活動は、母親が中心になりがちでもあり、父親にも気軽に活動に参加してもらえようことを目的に立ち上げました。「おやじの会」のメンバーの1人は、「地域活動以外に、学校で子どもたちのためにできることをしたい」と考えて入会したと話していました。「おやじの会」での活動を経験することで、PTAの一員だという自覚と、学校とコミュニティ活動との理想的な連携に近づいたと実感できたそうです。「おやじの会」では、運動会やオープンスクールのパトロール、三条コミスクの地域運動会マラソン立ち番など、父親ならではの特性を活かした活動を子どもたちと和気あいあいと行っています。活動後のメンバーとの「二次会」も楽しみの1つだそうです。現在はまだ15人ほどですが、子どもが学校を卒業しても長く続けられる会として育っていくことを目標にしています。父親が教育や地域に関わることで、子どもたちを取り巻く環境がより良いものになればいいですね。(T.H)



芦屋市PTA協議会の成立当初(1968年)、役員は各学校の会長・副会長の中から選出していました。つまり、単Pの会長・副会長が、そのまま芦Pの役員も兼任していたのです。1990年に輪番制の基礎が作られ、芦P協は市立学校園20校園で組織、小中の代表1校を輪番制で担当校としています。組織率は100%です。

- ### ◆平成27年度「努力目標」
- ①意識改革⇒ できる時にできる人ができることを
 - ②活動改革⇒事業仕分とスリム化
 - ③会議改革⇒ ルールを守って、効率よい会議に！

◆芦P協の「活動目的」

《スローガン》
結 ～みんなの気持ちを結びたい～

